

たいせつな時間は、写真の中で生きている。

六年前、テレビのドキュメンタリーの仕事でカワウソ漁で暮らすバングラデシュの村を訪ねたことがあります。この写真は、その漁の舟に乗っているところをスタッフに撮ってもらったものです。

マンクロープの密林中のその村には五日ほど滞在したんですが、いやあ、カルチャーショックでしたね。電気もガスも水道もトイレもない（笑）。家の床は土間、壁は編んだ竹だから音が筒抜けで、夜も村中の声が聞こえてきて眠るどころじゃない。暑いし、風呂には入れないしで、まいりました。

でも、不思議なもので、そうやって過ごしているうちに、太陽と共に起き暗くなれば寝る、そのシンプルであけっぴろげな暮らしが、すごく心地よくなっていく。と同時に、この文明から隔絶した村では、自分がいかに無力か身にしみてくる。ほくには竹割りひとつ、牛の乳しぼりひとつ、満足にできやしないんですから。

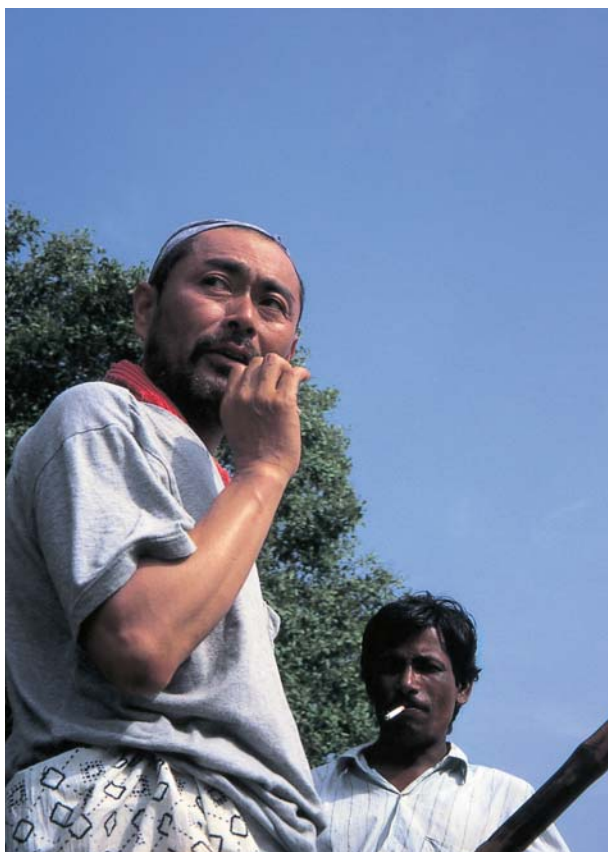
泊めてくれた家の主人は、ほくがこれまでの人生で出会った一番の「男」でした。素朴な食生活なのに筋肉は鋼のよう。まったく贅肉がないのね。立派なのは体だけじゃなくて、精神的にもしっかりしていた。現地の安タバコを吸っていたので日本から持っていたタバコ

をあげようとしたら、要らないって言うんです。今だけおいしいタバコを吸っても、どうせまた普段のタバコに戻るんだからって。

この写真を見ると、また行ってみたいくなります。今もきつと何も変わってませんよ、あの村。（談）

伊武雅刀

マンクロープの村で受けたカルチャーショック



カワウソ漁の小舟に乗った伊武さん。右は泊めてくれた家の主人で、あんまりしゃべりしているの、伊武さんは初めは同じ年くらいかと思ったそうだが、実は30代らしい。カワウソ漁というのは、訓練したカワウソ2匹を舟から放って魚を舟べりにまで追い込ませ、その寄ってきた魚を網を投じて獲る漁法で、男たちの仕事だ。一度漁に出ると、3ヶ月くらいは村に帰らず、行く先々で獲った魚を米に替えたりしながら、船上生活を送る。



profile

● Masatoshi Ibu
1949年、東京生まれ。俳優。ラジオ番組「スネークマンショー」で脚光を浴びる。83年の初シングル「子供達を責めないで」は売上げ10万枚の大ヒットとなった。映画「太陽の帝国」、TVドラマ「白い巨塔」など出演作多数。現在、FMラジオ「JET STREAM」のパーソナリティも務める。オフィシャルサイト <http://www.ibu-masatoshi.com>